

2026年5月15日

各 位

住所	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号
会社名	GMO インターネットグループ株式会社
代表者	代表取締役グループ代表 会長兼社長執行役員・CEO 熊谷 正寿 (コード番号 9449 東証プライム)
問い合わせ先	取締役 グループ副社長執行役員・CFO グループ代表補佐 安田 昌史
TEL	03-5456-2555 (代)
URL	https://group.gmo

個別決算における特別損失(関係会社株式評価損)の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社連結子会社である GMO-Z.com Trust Company, Inc. (以下、GMO Trust) を解散し、現地法令に従い清算手続を進めることを決議いたしました。本件に伴い、2026 年 12 月期の個別決算において特別損失を計上することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、当該評価損は、連結決算においては消去されるため、連結業績への影響は軽微であると見込んでいます。

1. 個別決算における特別損失(関係会社株式評価損)の計上について

当社グループでは、暗号資産を活用した決済手段の提供を事業機会と捉え、法定通貨と連動することで価格の安定性を持たせた暗号資産「ステーブルコイン」に着目し、2020 年 12 月に、ニューヨーク州金融サービス局 (NYDFS) より限定目的信託会社の認可を取得し、GMO Trust を設立いたしました。設立以降、日本円連動型ステーブルコイン「GYEN」及び米ドル連動型ステーブルコイン「ZUSD」の発行・管理事業を行い、複数のブロックチェーンネットワーク上での展開や海外暗号資産取引所との提携を進めてまいりました。

今般、ステーブルコインについて技術的な知見も獲得できたことから、今後日本国内での事業展開を見据えた検討を進める観点から米国の法人の清算を決定しました。清算手続は、現地当局 (ニューヨーク州金融サービス局) との協議のうえ進めてまいります。

清算決議に伴い、2026 年 12 月期第 2 四半期の個別決算において関係会社株式評価損 22 億円を計上する見通しです。

2. 今後の見通し

四半期における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しており、第 4 四半期においては、株式の時価の状況により今回計上した関係会社株式評価損の計上額が変動する可能性があります。

なお、上記の関係会社株式評価損は、当社の個別決算においてのみ計上されるものであり、連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響は軽微であると見込んでいます。今後開示すべき事項が生じた場合には、速やか

に開示いたします。

以上